

！ 降雨時には、特に土砂災害の発生に注意しましょう

土砂災害の多くは、水（降雨、地下水）が関与しています。
次のような雨が降ったら、土砂災害が発生する危険性が高いので注意してください。

一時間に 20mm 以上の雨・・・車のワイパーを動かしても前が見えにくいほどの強い雨

連続雨量で 100mm 以上の雨・・・雨が降り出してから、10cmのコップがあふれる

！ 行政からの情報に注意しましょう

土砂災害や洪水が発生する可能性が高くなると、防災気象情報の他に行政から次のような情報が発表されることがあります。これらの情報が発表された場合には、すぐに避難を開始してください。

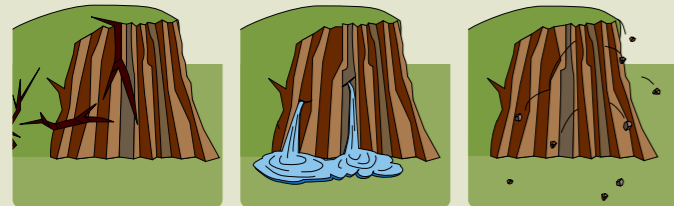
土砂災害警戒情報・・・地域の雨量などを考慮して、土砂災害発生危険性が高まった地域に対して、気象台と県から市町村単位で発表される情報

避難勧告・避難指示・・・災害によって被害を受ける可能性の高い地域の住民に対して、市町村から発表される情報

！ 前ぶれ（予兆現象）に注意しましょう

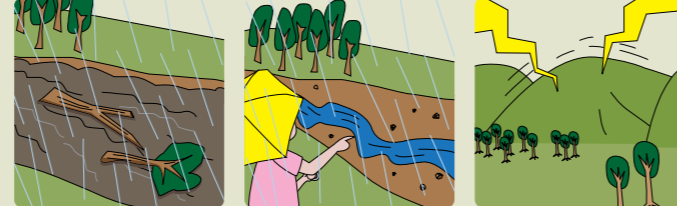
土砂災害が発生する前には、予兆現象が見られることがあります。大雨が降ったときには、周りの様子に注意して、次のような状況を見たら、直ちに避難を開始してください。

がけ崩れの発生前には・・・



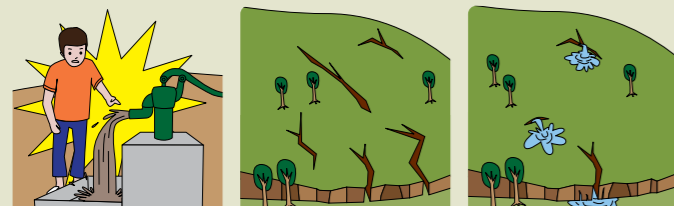
がけに割れ目が見える
がけから水が湧き出ている
がけから小石がぱらぱら落ちてくる

土石流の発生前には・・・



急に川の流れが濁り、流木が混ざっている
雨が降り続けているのに、川の水位が下がる
山鳴りがする

地すべりの発生前には・・・



沢や井戸の水が濁る
地面にひび割れができる
斜面から水が噴き出す

この他にも・・・

- 地鳴り、木根のちぎれる音、岩の割れる音などがする
- ものの腐ったようなにおい（腐葉土、下肥のにおい）がする
- 小動物が異常行動（騒ぐなど）をとる など

！ 災害情報サービスをご活用ください

釜石災害 110 番 ☎ 0800-8003199（通話料無料） ※岩手県内の固定電話・携帯電話・PHS から利用可能です。
市内の雨量情報・防災行政無線の放送内容を電話で確認できます。

地域住民、全員でやること

雨が降り始めたら・・・

- 裏面の防災マップを参考に、地域内の危険箇所の様子を確認しましょう。
- ワンカップを用いて、雨量を計測しましょう。
- 河川の水位を確認しましょう。



『いつもと違う何か』の発生を確認したら・・・

- 自主防災会の役員等に連絡しましょう。
- 身の安全を第一に考え、必要に応じて避難を開始しましょう。



向定内西地区 自主避難計画

自主避難を開始する基準を考えました。

以下のような状況になったら、自主避難を開始してください。

- 1 南側のがけから滝のように水が流れてきた場合
- 2 一時間に 20mm または連続雨量で 100mm の雨が降った場合
- 3 甲子川のフラップゲートから 50cm くらいまで水位が上がった場合



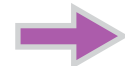


豪雨災害時の緊急避難場所を考えました。

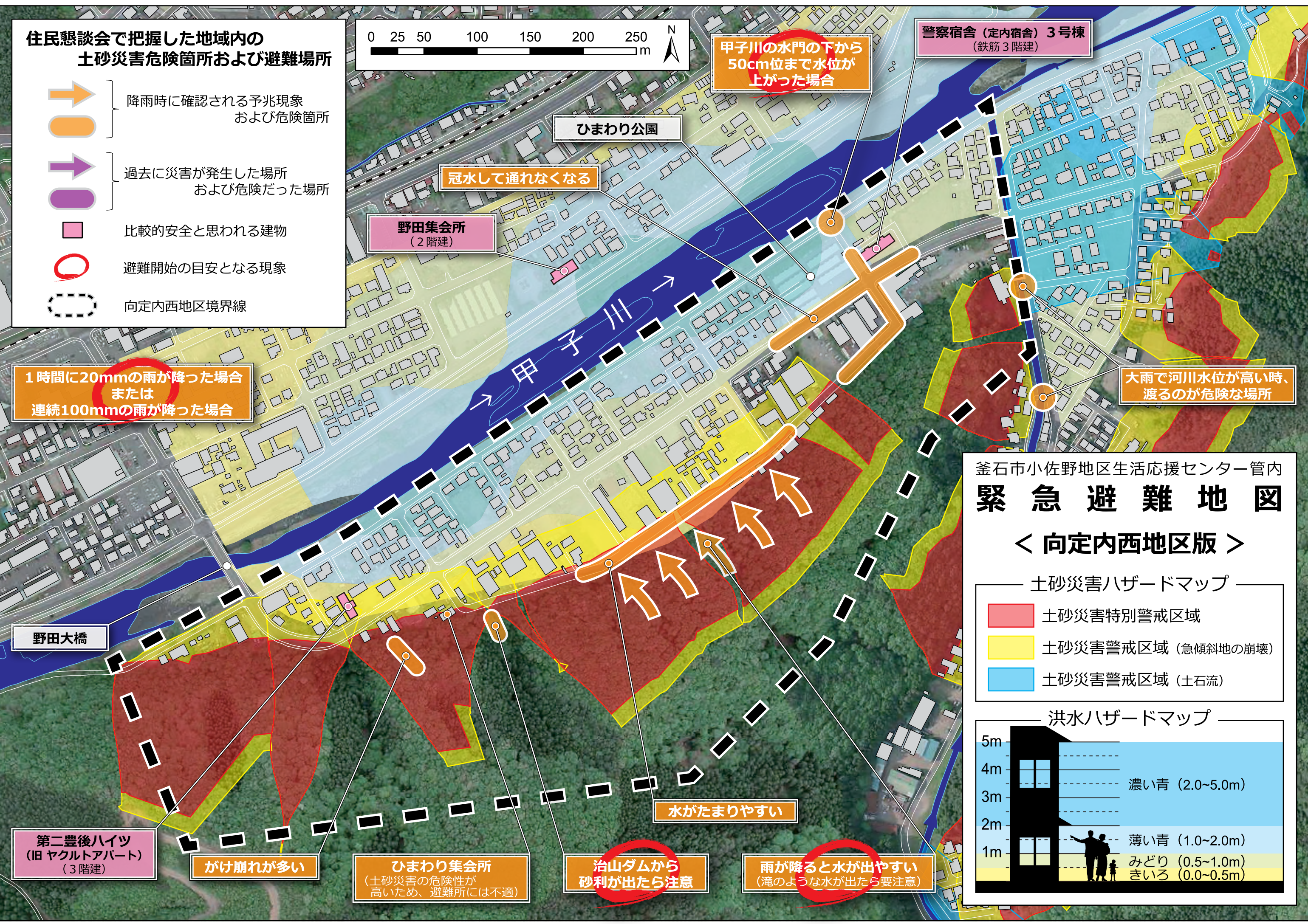
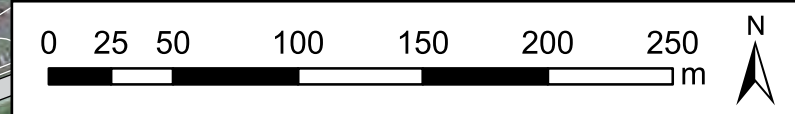
周辺の様子に注意して、身の安全を第一に考えた対応をとってください。

- 1 野田集会所へ避難
- ただし移動手段が確保でき、野田大橋が安全に渡れる場合に限る
- 2 豊後 AP（旧ヤクルトアパート）へ避難
- 野田大橋が渡れない場合は、こちらへかけこむ
- 3 警察宿舎へ避難
- ひまわり公園交差点が冠水していなかった場合

※この計画は平成 24 年 10～12 月に実施した「洪水・土砂災害に対する警戒避難体制の整備支援事業」を通じて、向定内西地区として検討したものです。

住民懇談会で把握した地域内の
土砂災害危険箇所および避難場所

-  降雨時に確認される予兆現象
および危険箇所
-  過去に災害が発生した場所
および危険だった場所
-  比較的安全と思われる建物
-  避難開始の目安となる現象
-  向定内西地区境界線



釜石市小佐野地区生活応援センター管内
緊急避難地図

< 向定内西地区版 >

